



Uwasamon うわさもん



益城の若もんも、がまだしょっばい!

町でうわさの若者を紹介。
夢に向かって全力で進む若者を応援します。

頑張っているもの

陸上(駅伝競技)

名前 たかき せいや
高木 聖也 さん (22)

行政区 **小池秋永**

青山学院大学 社会情報学部 4年生
部活動/陸上競技部主務(マネジャー)
第18回全国選抜高校駅伝弥彦大会優勝
第62回全九州高等学校駅伝競走大会優勝(5区区間賞)
H22熊本県高等学校駅伝競走大会優勝(7区区間賞)



「とにかく小学生のころから、長距離走では負けたことがありませんでした。中学2年生から本格的に陸上を始め、3年生で全国中学校陸上競技選手権大会の3,000メートルに出場しました」と話すのは、青山学院大学4年生で陸上競技部マネジャーの高木聖也さんだ。

高校時代は、駅伝の名門校である九州学院陸上部の選手として活躍し、第18回全国選抜高校駅伝大会では全国制覇を成し遂げるなどの好成績を残した。

「新春の箱根路を駆け抜けることが夢」と、憧れの青山学院大学に入学し陸上競技に打ち込んでいた聖也さんだが、すぐに度重なる故障に悩まされるようになった。「これも実力。何もかもが上手くいかなくて、退部も考えていました」という聖也さんに、陸上競技部原晋監督の「聖也はチームに必要だ。マネジャーをやってくれないか」の一言で転機が訪れた。「選手として、やるだけの努力はやった。意外と切り替えは早くできました」とマネジャーになったきつかけを振り返る。さらに「今年は、チーム一丸となって本気で箱根優勝を目指してきました。どんな小さなことでもチームのためになることは行動したい」とチームへの熱い思いを語ってくれた。「諦めるのは悪くない」これは、選手として諦めた夢をマネジャーとして追い続ける聖也さんの思いのこもった言葉。「次が最後の箱根駅伝。優勝するためなら努力を惜しみません」。

新春の箱根路を、聖也さんの夢がチームと共に駆け抜ける。

問い合わせ先 役場秘書広報課広報係 ☎ 286-3111 / ☎ 203 📠 286-4523 📧 kouhou@town.mashiki.lg.jp